

平成26年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

1. 女性のチャレンジ賞(受賞者3名、受賞団体1件)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	西平 都紀子 (協力雇用主・株式会社信濃路 代表取締役)	和歌山県	女性の視点から協力雇用主として刑務所出所者等の就労支援に尽力 自らも補聴症がありながら立ち直り、女性経営者として才覚を振るう中、男性が圧倒的多数を占める刑務所出所者等に対して、その前歴を承知の上で女性の視点から雇用する協力雇用主として、また、日本財団が取り組む「職親プロジェクト」参加企業中唯一の女性経営者として、雇用を通じた社会復帰支援に尽力している。 (表彰歴) 近畿地方更生保護委員会委員長表彰(平成25年度)
2	福島 有佳子 (川村義肢株式会社 工房アルテ 主任技師)	大阪府	人工ボディ製作のエキスパートとして心身をケア 病气や怪我などで身体の一部を失われた方の為に、独学で技術を取得。人体用のシリコンを用い、本物の身体とそっくりな人工ボディ製作のエキスパートとして20年以上活躍。見た目や装着感を重視する傍ら、装着者の「心のケア」が大切と考え、カウンセリングを何度も行い「心が軽くなる人工ボディ」として提供している。また、難病者の社会復帰支援、病气や怪我での精神的ケアを他機関と連携し取り組んでいる。 (表彰歴) 大阪府知事感謝賞(平成16年度、24年度)
3	一般社団法人 土木技術者女性の会 (桑野 玲子 会長)	東京都	土木界における女性の活躍を支援するとともに、「ドボジョ」の認知度向上に貢献 男性社会であった土木分野において、女性土木技術者の質の向上と活動しやすい環境作りを目的とした独立団体として組織。全国規模での総会、見学会やセミナー、シンポジウムなどを通して、女性土木技術者に対して幅広い年齢層のロールモデル提供の場、指導者育成の場、キャリア継続支援の場を提供。所謂「ドボジョ」の社会的認知に大きく貢献している。ロールモデル集「Civil Engineerへの扉」を2度発行した他、書籍「継続は力なり〜女性土木技術者のためのキャリアガイド〜」(編者:土木学会)の編集に協力した。
4	白須 美紀子 (矢鋪與左衛門窯)	佐賀県	女性初の伊万里・有田焼伝統工芸士(形成部門)として、有田焼の魅力を発信 伊万里・有田焼伝統工芸士会が結成されて以来、女性として初めて形成部門(ろくろ)で伝統工芸士に合格。県内外小中高での陶芸教室や様々な民間施設等での実演や指導を行い、これまで総付けの体験指導は10,000人、ろくろの体験指導は1,500人にもおよんでいるなど、伝統技能の伝承・地域貢献にも熱心に取り組む。 (表彰歴) 全国技能士会連合会会長賞受賞(平成23年)

2. 女性のチャレンジ支援賞(受賞団体2件)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	株式会社キャリア・맘 (堤 香苗 代表)	東京都	出産や育児のために離職した女性が在宅勤務等で活躍できるシステムを確立 これまでにない発想で出産、育児により離職した女性が在宅で活躍できるシステムを設計・運営し、年間延べ15000人の女性在宅スタッフに対して継続的な業務を創出している。子育て、介護等により家族のそばで働きたい女性たちに対して、働く場所や時間を融通しあい、それぞれの固有のキャリアを活かし、組み合わせることで、自分の能力と時間に適合した仕事を請け負う今までに無い「チーム型請負業務」の開発を行い、家庭も仕事も大切にしたい女性たちに時間や場所に縛られない新しい就労の機会を創出。また、eラーニングシステム等によるキャリアサポートも行っている。 (表彰歴) 全国商工会議所女性会連合会 第5回女性起業家大賞 グローバル部門優秀賞(平成18年)、東京都東京ワークライフバランス「多様な勤務形態導入部門」認定(平成24年)、経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」選出(平成25年)
2	株式会社みちのく銀行 (高田 邦洋 代表取締役頭取)	青森県	女性を積極的に登用し、男女が共に働きやすい職場環境づくりを実現 多様な人材を活かし、最大限の能力を発揮させようという「ダイバーシティ」の考えの下、銀行業務の各分野で女性を積極的に登用。経営資源である人材の活用のため、男性のみならず女性もともに働きやすい職場風土を醸成してきたことにより、結婚・妊娠・出産を理由に辞職する職員がほぼ皆無となり、正行員として長期にわたって働き続ける女性が増加。現在、10ヶ店中11ヶ店が女性支店長であり、課長職以上の女性管理職は全体の21.1%となっている。 (表彰歴) あおりワーク・ライフ・バランス推進企業登録(平成25年)、青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰奨励賞「企業の職場づくり部門」受賞(平成25年)

3. 女性のチャレンジ賞特別部門賞(テーマ:「女性が輝く、地域が輝く」)(受賞者1名、受賞団体2件)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	株式会社三見シーマザーズ (吉村 榮子 代表)	山口県	地域漁業の所得向上、福祉への貢献、雇用創出を目的に起業し、地域活性化に貢献 漁業者の所得向上と地域福祉への貢献を図るため、山口県漁協三見支店女性部員の有志で「三見シーマザーズ」を結成。市場価値の低い雑魚を使って総菜や弁当を作り、一人暮らしの高齢者への宅配や地元事業所等への販売を行うなど、「漁業者の所得向上」「地域福祉への貢献」「地域雇用の創出」の3つを軸に地域活性化に貢献。漁協女性部による起業の成功モデルとして、他団体への波及効果も生み出している。 (表彰歴) 全国青年・女性漁業者交流大会地域活性化部門農林水産大臣賞(平成25年)
2	藤井 けい子 (特定非営利活動法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会理事長)	秋田県	東北初となる農家民宿を開業し、農村女性による起業の先駆者として活躍 これまで農家の女性たちが培ってきた暮らしの知恵や技術を、都市住民を受け入れる民宿という形で社会に還元したいと、東北初となる農家民宿を開業。これを機に、県内の農村女性による起業数が7年連続で全国1位になるなど、地域の女性に対する開業の支援や、地域の様々な観光資源と共に広がりのある事業を行い、地域全体の活性化につながる長年の先駆者として活動。 (表彰歴) グリーン・ツーリズム大賞優秀賞(平成15年)、毎日農業記録賞優良賞(平成16年)、農林漁家民宿おかあさん100選(平成20年)、秋田県男女共同参画社会づくり表彰(平成25年)
3	サンフェスタいしかわ友の会 (相馬 由美子 会長)	青森県	農産物の生産から販売まで参画し、農業の6次産業化に寄与 台風被害による所得減少を防ぐため、直売に関心のあった女性たちが集まり、地域のJA職員と連携して直売活動を開始。それまでは男性主体の農業経営であったが、「生産・加工・販売」の過程に女性も参画できるようになり、農業に携わる女性にとって先駆的で効率的な「農業の6次産業化」に寄与。将来の農業の担い手の育成にも力を入れており、地域ぐるみの活動を展開。 (表彰歴) 青森県農業大賞(平成13年)、農山漁村いきいきシア活動農林水産大臣賞(平成15年)、地産地消優良活動表彰東北農政局長賞(平成18年)、第61回全国農業コンクール全国大会農林水産大臣賞(平成24年)、青森県いきいき男女共同参画社会づくり奨励賞「女性のチャレンジ部門」受賞(平成25年)